

# 解 答 速 報

## 近畿大学医学部(前期) 英語

2020年1月26日実施

I	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	エ	ア	イ	ア	イ	エ	ウ	ウ	ア	ウ
II	11	12	13	14	15	16	17	18		
	イ	ウ	ア	エ	エ	ウ	イ	イ		
III	19	20	21	22	23	24	25	26		
	ウ	オ	ウ	オ	エ	イ	ウ	ア		
IV	27	28	29	30	31	32	33	34		
	ア	エ	ウ	イ	ウ	エ	イ	エ		
V	35	36	37	38	39	40	41	42		
	ウ	イ	ウ	イ	エ	ア	ア	エ		

### I 文法・語法

- (1) (エ) on a whim 「気まぐれに、ふと思いついて」  
 At the checkout counter, he purchased some bubble gum on a whim.  
 訳：「彼はレジで気まぐれに風船ガムを買った」  
 残りの選択肢は、(ア) whip 名「むち、むち打ち」(イ) whirl 名「回転、旋回」(ウ) whistle 名「笛」
- (2) (ア) foe 「敵、反対者」  
 I used to view everyone as either friend or foe, with no middle ground.  
 訳：「私は皆をその間はなく友達か敵かのどちらかとみなしていた」  
 middle ground 「中立」 残りの選択肢は、(イ) fowl 名「鳥類、家禽」(ウ) fret 名「いらだち」(エ) fright 名「恐怖」
- (3) (イ) countenance 「顔つき、顔色、表情」  
 If you approach him with that angry countenance, he will meet you with the same expression.  
 訳：「もしあなたがそんな怒った表情で彼に近づいたら、彼も同じ表情であなたを迎えるだろう」  
 残りの選択肢は、(ア) coverage 名「報道」(ウ) compound 名「化合物」(エ) containment 名「抑制」
- (4) (ア) outlet for emotion 「感情のはけ口」  
 Some people see poetry as an outlet for emotion.  
 訳：「詩を感情のはけ口とみなしている人もいる」  
 残りの選択肢は、(イ) outfit 名「衣装」(ウ) outburst of ~ 「～の爆発」(エ) outrage 名「激怒」
- (5) (イ) lapse 「ちょっとした間違い、過失、失敗」  
 I'm sorry I had a spelling lapse on your name.  
 訳：「あなたの名前を書き間違えてしまい、申し訳ありません」  
 残りの選択肢は、(ア) lace 名「レース、ひも」(ウ) lag 名「ずれ、遅れ、遅延」(エ) lament 名「悲しみ、嘆き」

- (6) (エ) turbulent political situation 「混乱した政局、荒れた政治情勢」  
 The conference was called off yesterday because of the turbulent political situation in the host country, leaving several important issues unsettled.  
 訳：「開催国の政治情勢の混乱のために、昨日会議は中止され、いくつかの重要な問題が未解決のままになった」  
 call off 「～を中止する」, host country 「主催国、開催国」  
 残りの選択肢は、(ア)cumulative  「累積的な」 (イ)pious  「信心深い」 (ウ)habitual  「習慣的な」
- (7) (ウ) get distracted by ~ 「～に気を取られる、～で気が散る」  
 He was putting his car in the garage last night when his cell rang. He got distracted by the sound and bumped into the fence.  
 訳：「昨晚、携帯電話が鳴った時、彼は車庫入れをしているところだった。彼はその音に気を取られて、フェンスにぶつかった」  
 bump into 「～にぶつかる」  
 残りの選択肢は、(ア)distort  「ゆがめる」 (イ)alienate  「遠ざける」 (エ)sort  「分類する」
- (8) (ウ) anonymous 「匿名の、名無しの」  
 At six o'clock this morning, the police received an anonymous call identifying the murder victim. It was from a pay phone.  
 訳：「今朝の6時に、警察は匿名の電話を受けて、殺人の犠牲者の身元を特定した。その電話は公衆電話からだった」  
 identify  「～を確認する」 pay phone 「公衆電話」  
 残りの選択肢は、(ア)elementary  「初歩の」 (イ)intimate  「親密な」 (エ)oppressive  「過酷な、圧迫する」
- (9) (ア) get ahead of oneself 「先走る、先走った行動をする」  
 Let's not get ahead of ourselves and start buying furniture before we've even found an apartment.  
 訳：「部屋を見つけてすらいないうちに、先走って家具を買い始めないようにしよう」
- (10) (ウ) live up to ~ 「～(期待など)に沿う、に答える」  
 No matter how hard Mike tries, he'll never live up to his father's expectations.  
 訳：「マイクがどれほど努力しようと、彼が父親の期待に沿うことはないだろう」  
 no matter how + 形/副 = however + 形/副 「どれほど～であっても」は譲歩の従属節を作る複合関係副詞。expectation  「期待」

## II 正文選択

- (11) (イ) Whether you are happy or not depends much on your frame of mind.  
 (12) (ウ) She seemingly does not want to admit that her emotions get the better of her sometimes.  
 (13) (ア) Reading books recommended by your friends is good because then you can discuss them together.  
 (14) (エ) The boss is in a foul mood because you interrupted him when he was leading up to the punch line.  
 (15) (エ) I think it is commendable that many Japanese companies make a lot of effort to enhance their employees' understanding of different cultures.  
 (16) (ウ) If you would like to enter for a chance to win a gift certificate, please enter your contact information below, otherwise leave it blank and proceed to the next page.  
 (17) (イ) What can our school do to better accommodate international students whose number has been increasing recently?  
 (18) (イ) Please limit the use of mobile phones in this hotel to areas where it will not disturb other guests.

### III

#### 語句整序

- (19) (ウ) Although he was jet-lagged and weary, he tried to be wary of the pickpockets around the station.  
 訳：「彼は時差ぼけで疲れていたのだが、駅の周囲でスリに用心しようとした」  
 jet-lagged 形「時差ぼけの」。 weary 形「疲れた」。 wary 形「用心深い」。 pickpocket 名「スリ」
- (20) (オ) The book was, to all intents and purposes, a mere duplication of her earlier efforts.  
 訳：「その本は、とどのつまり、彼女の若い頃の作品の焼き直しにすぎない」  
 to all intents and purposes 「とどのつまり、実質上」
- (21) (ウ) The company has been sluggish for the last few quarters, but several signs point to a speedy recovery.  
 訳：「ここ最近の四半期、その会社は業績が停滞していたが、速やかな回復を示す複数の兆候がある」  
 sluggish 形「不振な」
- (22) (オ) Lynn was frustrated by the postponement of her much anticipated vacation.  
 訳：「リンは、とても楽しみにしていた休暇が延期されたことにながっかりした」  
 frustrate 動「～を欲求不満にさせる、挫折感を抱かせる」。 much は直後の anticipated を修飾する。  
 anticipate 動「～を期待する」
- (23) (エ) The embarrassing photograph humiliated the candidate in the eyes of the voters.  
 訳：「有権者の目から見れば、その恥ずかしい写真は候補者の面目を潰すものだった」  
 embarrassing は他動詞の embarrass 「恥ずかしがらせる」の現在分詞。 humiliate 他動「～に恥をかかせる」。 in the eyes of～「～の視点から見れば」
- (24) (イ) The solidarity among fellow employees made the tedious work bearable.  
 訳：「従業員仲間の結束のおかげで、退屈な仕事に耐えることができた」  
 solidarity 名「結束」。 tedious 形「退屈な、うんざりする」。
- (25) (ウ) This volume on corporate law should occupy a prominent place on all office bookshelves.  
 訳：「会社法についてのこの本は、事務所にあるすべての本棚の目立つ場所にあるべきだ」  
 volume 名「(雑誌などの) 巻」。 prominent 形「目立った」
- (26) (ア) It is time to get your act together if you want to succeed.  
 訳：「もし成功したいなら、タガを締めるべき時だ」  
 it is time to do～「～する時だ」。 get one's act together 「首尾一貫する、きちんと行動する」

### IV

#### 空所補充

- (27) (ウ) 直後の節に “a squirt of stem cells into the nose can restore olfaction” 「鼻に幹細胞を噴射することで嗅覚が再生できる」とあるので、sense of smell 「嗅覚」に disabled 「障害がある」とすればよい。
- (28) (イ) which 以下の非制限用法の関係詞節は、先行詞の “The introduced “globose basal cells”” 「その取り入れられた『球状の幹細胞』」の説明となるように、precursors to smell-sensing neurons 「においを感じるニューロンの前駆細胞」とすればよい。
- (29) (ウ) 嗅覚を再生させられる細胞は、生着し、嗅覚のニューロンに分化し、脳の嗅球につながることでできる細胞であるので、differentiating を入れる。
- (30) (イ) 前文で嗅覚の再生を人間に応用させるうえでの困難さについての記述があり、直後に “one would need to define what clinical situations might be appropriate,” 「どんな臨床現場が適切かを明確にする必要があるだろう」とあり、困難さに関する追加の内容だと考えられるので、Further 「さらに」を入れる。
- (31) (エ) 直後に “came from the transplant or from self repair” 「移植から生じたのか、自己修復から生じたのか」とあるので、移植や自己修復により嗅覚の機能が「回復する」と考えられるので、regained を入れる。
- (32) (ア) “restoration of smell” 「嗅覚の再生」は、“the introduced cells” 「その取り入れられた細胞」が「原因となる」ので、attributed を入れる。 be attributed to～ 「～に原因があるとする」

- (33) (ア) green fluorescent cells 「緑色の蛍光性の細胞」とすることで判別と追跡がしやすくなると考えられるので、 traceable 「追跡可能な」を入れる。
- (34) (エ) work one's way into ~ で「～に伸びる、～に入り込む、～にしみ込む」となる。“with axons working their way into the olfactory bulb” 「軸索が嗅球に伸びて」

## V

### 長文総合

- (35) (ウ) physical 「身体的な」  
 第1段落第2文の従属節には“~ while humans retained an immense edge over machines in cognition.” 「認知能力の点では人間は機械に対して大幅に優位を保ち続けた一方で～」とあるので、主文と対比になるように、また第1段落第3文に“~ manual jobs in agriculture and industry were automated~” と有ることから、“~ machines competed with humans mainly in raw (physical) abilities ~” 「機械は主に、ありのままの身体能力の点で人間と張り合ってきた」となるように physical を入れるべきことがわかる。
- (36) (イ) 「人間の身体・認知能力以外に、人間が常に AI に優越する領域はない」  
 下線部の意味は「身体的・認知的領域のその先に、人間が常に安定して優位を保ち続けるであろう第三の領域があることなど一切聞いたことがない」である。これは、身体的・認知的領域でも人間はすでに AI に負けているが、それ以外に人間が AI に優越できる領域は存在しないということを示す。(ア)は AI is fully controlled by human activities が誤り。(ウ)は enter the world, また、 go beyond our physical and cognitive limits などに該当する内容が本文に明示されていない。(エ)は「人間がオートメーション化された機械技術を道具として用いる領域は、身体・認知的領域以外には存在しない」となるので誤り。
- (37) (ウ) fueled 「刺激を受ける、促進される」  
 第2段落第1文の not just と第2段落第2文の as well に着目する。第2段落第1文には「AI 革命とは、コンピューターの手がますます早くなり、能力がどんどん高くなるというだけのことではない」とあるので、空所には「AI 革命が生命科学や社会科学の進歩によって促進される」という、第1文同様に進歩を示す内容が入ることがわかる。
- (38) (イ) 「実際のところ人間の意志決定は脳内のパターン認識であり、これは確率の計算に基づいている」  
 第3段落第2,3文と一致する。(ア)は mysterious free will helps humans' decision making in choosing ~ が第3段落第2文と矛盾する。(ウ)は neuroscience is still unable to find any clue が第3段落第1文と矛盾する。(エ)は human intuition is in a sense magical が第3段落第4文と矛盾する。
- (39) (エ) If you think AI needs to compete against the human soul in terms of mystical hunches the task sounds impossible. (d a b c) 「[人間の持つ] 神秘的な直観という点で、AI が人間の精神と張り合う必要があるとするならば、この課題は不可能なように思われる」  
 第4段落第3文に“But if AI really needs to compete against neural networks~” 「しかし、実際に AI が人間の神経系と張り合う必要があるならば～」とあるので、それと対比になるように、 if you think AI needs to compete against the human soul ~ 「AI が人間の精神と張り合う必要があるとするならば～」となる。(e) against neural networks が不要。
- (40) (ア) a spiritual self 「精神的な自己」  
 an immaterial spirit 「非物質的な精神」に匹敵するのは a spiritual self 「精神的な自己」である。
- (41) (ア) 「人間の感情と欲求は、一連の生物学的規則に基づくと考えられるが、コンピューターはこれを分析することができる」  
 (イ)は far from rigid algorithms ~ が誤り。(ウ)は computers cannot calculate them が誤り。(エ)は computers soon will be equipped with those sentiments が誤り。

(42)(エ)「過去、人間が機械に対して圧倒的な優位を保つことができたのは、人間のほうが手仕事が上手かったからである」。

第1段落第2文“~humans retained an immense edge over machines in cognition.”と矛盾する。(ア)は第2段落第1文、(イ)は第1段落第4文、(ウ)は最終段落第1,2文にそれぞれ一致する。

## 講評

形式：昨年度一般入試、及び本年度推薦入試と全く同様の形式・内容

内容：

- I** [文法・語法] (やや難) 例年通り全体に語彙レベルは高いが、知っている語彙を手掛かりにすれば正解できる問題も十分にある。
- II** [正文選択] (標準) 易しくはないが、各日本文が正解となる選択肢の英文の構造を反映していることが多く、比較的正確しやすい。
- III** [語句整序] (やや難) 標準的な問題が多いが、熟語や単語の難易度が高く、正解しにくいものもある。
- IV** [空所補充] (やや難) 「ネズミの嗅覚再生」について。医学用語に関連した選択肢もいくつかあり、昨年と比べて内容への理解度、知識で差が出る問題。
- V** [長文総合] (標準) 「AIの持ちうる認知能力」について。近年頻出の話題であり、設問も素直で解きやすい。

大問**I**、**V**が取り組みやすくなり、全体としてはやや易しくなった。大問**II**、**III**の出来で差がつくだろう。目標は65%。

**メルマガ無料登録で全教科配信！** 本解答速報の内容に関するお問合せはメビオ ☎0120-146-156 まで

☎ 03-3370-0410

受付時間 8~20時 土日祝可  
<https://yms.ne.jp/>  
 東京都渋谷区代々木 1-37-14



☎ 0120-146-156

携帯からOK 受付時間 9~21時 土日祝可  
<https://www.mebio.co.jp/>  
 大阪府中央区石町2-3-12ベルヴォア天満橋